



2017年5月12日

各位

会社名 ユニチカ株式会社
代表者名 代表取締役社長 注連 浩行
(コード番号 3103 東証第一部)
問合せ先 経営企画部長 杉澤 滋
(TEL 06-6281-5695)

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2017年度から2019年度までの新中期経営計画「“G” round 20 ~ to The Next Stage (ジーラウンド・トゥエンティ ~ トゥザネクストステージ)」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画の骨子

当社の前中期経営計画は2017年度を最終年度と位置づけておりましたが、外部環境の変化や前中期経営計画の進捗状況を踏まえ、2017年度を初年度とする3ヵ年計画「“G” round 20 ~ to The Next Stage」を前倒しで策定いたしました。当社は、新中期経営計画にて更なる飛躍に向け、「事業基盤を固め、成長に向けた種まきを確実に実行」して参ります。具体的には、「新中期経営計画」の着地となる2020年を見据え、次なるステージを展望していくため、下記の骨子4点に注力したうえで、「3つの“G”」を実現し、成長への「基盤」固めを行います。

(骨子)

- (1) 強みを梃子にした一層の事業育成・強化
 - ・既存事業の育成、加速
 - ・継続的な成長への‘種まき’、研究開発の更なる強化
- (2) 成長市場の獲得強化
 - ・海外事業基盤の確立、市場拡大
- (3) 経営基盤の更なる強化
 - ・PDCA管理の高度化、強化
- (4) リスクマネジメントの徹底
 - ・子会社管理手法、モニタリング体制の確立

(新中期経営計画で目指す「3つの“G”」)

<u>G</u> rowth	事業成長戦略の推進
<u>G</u> lobal	グローバル事業展開の強化・推進
<u>G</u> overnance	グループガバナンスの強化

2. 新中期経営計画におけるセグメント別概要

(1) 高分子セグメント

・生産体制強化を伴う高付加価値品の海外展開加速、国内顧客深耕

【フィルム】食品包装用ナイロンフィルムの世界トップシェアを維持するため、高付加価値品拡販
成長余地ある用途(工業用途)・素材(ユニアミド等)の拡販強化

【樹脂】体制強化によるコンパウンド・機能樹脂分野の海外展開加速
 既存顧客の深耕による独自商材（Uポリマー、ナノコン等）拡販

【不織布】ポリエステルспанボンド：タスコ（タイ）生産設備増強を梃子にしたカーペット、
 自動車部材拡販
 スпанレース：生活資材用途、および衛材（アジア向け）の拡販

(2) 機能材セグメント

- ・顧客動向を捉えた差別化品の拡販と品質、コスト改善による競争力強化
- ・既存事業基盤を梃子に、高機能製品の積極的海外展開の推進

(3) 繊維セグメント

- ・高付加価値品の開発、生産能力の強化による顧客深耕と収益確保
- ・二次製品ビジネスの強化による顧客開拓及び拡販

3. 財務基盤の強化

当社は、2017年3月21日付「C種種類株式の取得及び消却、並びにC種種類株式発行に関する資金使途変更のお知らせ」、「シンジケートローンによる資金の借入に関するお知らせ」にてお知らせの通り、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第壹号投資事業有限責任組合に対して発行したC種種類株式を2017年6月末に取得し、消却いたします。また、2017年3月末にシンジケートローンによる資金の借入を行い、前中期経営計画時に借入先金融機関の皆様にご支援いただいた債務残高の維持を解消し、新中期経営計画を遂行するために必要な資金を調達しております。

【新中期経営計画数値目標】

(金額単位：億円)

	2017年度 計画	2019年度 計画	増減
売上高	1,310	1,400	+90
営業利益	107	134	+27
経常利益	73	102	+29
親会社株主に帰属する当期純利益	49	47	▲2
純資産	377	485	+108
有利子負債	1,066	1,016	▲50

【経営資源投入計画】(連結ベース)

(金額単位：億円)

	2017-19年度計画 (累計)
設備投資	215
研究開発費	105

尚、新中期経営計画の最終年度は、当社にとって創立130周年、かつ、ユニチカ発足50周年の節目となります。当社を支えて下さっている皆様のご期待に応えられるように、更に努力して参りたいと考えております。

以上

<計画に関する注意事項>

本資料における計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後様々な要因により予想および計画と異なる可能性があります。